

平成 27 年度全国学力・学習状況調査(小学校)

理科

区分別定着状況

平均通過率

市 64.8%
国 [60.8%]
県 (63.2%)

【物質】59.7% [57.4%] (59.6%)
【エネルギー】71.9% [65.6%] (68.5%)
【生命】63.3% [61.2%] (63.2%)
【地球】63.9% [57.8%] (60.1%)
※ [] 内は全国平均を、() 内は県平均を表します。

主として「知識」に関する問題

平均通過率

市 66.0% 国 [61.3%] 県 (63.6%)

正答率の高い設問(上位3問)

- メダカの雌雄を見分ける方法を理解している(問2(1)) 88.7% [78.0%] (82.0%)
- 水蒸気は水が気体になったものであることを理解している(問3(1)) 87.3% [81.9%] (82.9%)
- メスシリンダーの名称を理解している(問3(4)) 79.6% [73.7%] (70.7%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている(問2(4)) 27.5% [37.9%] (36.8%)
- メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けている(問3(5)) 44.4% [51.7%] (53.6%)
- 星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている(問4(3)) 62.7% [55.3%] (54.9%)

主として「活用」に関する問題

平均通過率

市 64.1% 国 [60.5%] 県 (62.9%)

正答率の高い設問(上位3問)

- 打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析できる(問4(6)) 86.6% [84.2%] (85.3%)
- 電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる(問1(5)ア) 83.8% [72.7%] (75.7%)
- 電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる(問1(5)イ) 83.8% [66.2%] (72.1%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる(問3(6)) 39.4% [28.9%] (28.8%)
- 水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できる(問3(3)) 47.9% [51.7%] (53.9%)
- 予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想できる(問3(2)) 48.6% [54.0%] (57.9%)

結果から考えること

○考察

理科は全国平均を上回っており、これらの学習内容はおおむね定着していると考えられます。

○今後の指導について

今後、器具の操作の意味を捉えさせ、適切な扱い方を理解させるなど、観察・実験の基礎的な技能を習得させる指導の充実を図る必要があります。

また、予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想させたり、変化とその要因とを関係付けて考えさせたりする指導を充実させる必要があります。